

一級河川中の環境ホルモン濃度調査結果を公表 国土交通省



国土交通省は平成15年10月24日までに、全国の一級河川で環境ホルモンと疑われている物質がどの程度検出されているかについて14年度調査結果をまとめ、公表しました。

今回の調査は、全国の一級水系55水系76地点で平成14年の秋から冬にかけて、水質と底質の調査を行いました。この結果では、22地点で重点調査濃度を上回る値が観測されました。このうち6地点は、今回の調査で新たに汚染が確認された地点でしたが、一方、13年度調査で重点調査濃度を上回っていた4地点で重点調査濃度が下回る結果となっています。22地点のうち、ノニルフェノールが超過していた地点は4地点、ビスフェノールAの超過地点は1地点、エストロンの超過地点は18地点でした。

今後の調査について国土交通省は、内分泌かく乱物質に関して、現在まで生態系全般に対する影響が明らかになっておらず、環境基準も設定されていませんが、生物の生殖等への影響が考えられていること及び社会の関心が高いことから、将来的な対策等のためのデータの蓄積を図ることが重要としています。国土交通省河川局では、全国140の調査地点において、引き続き調査を実施していくこととしています。

資料: 2003年10月24日付 EIC ネット 国土交通省ホームページ

総務部 横山 美代子

The Knights of Environmental Science
内藤環境管理株式会社

〒336-0015 埼玉県さいたま市南区大字太田窪 2051 番地 2
TEL.048-887-2590 FAX.048-886-2817
URL : www.knights.co.jp

事業内容

- | | |
|----------------------|-----------------------|
| 1 環境管理に伴う調査・測定・化学分析 | 5 土壌汚染対策法に基づく土壌汚染状況調査 |
| 2 ダイオキシン類に係る濃度計量証明 | 6 労働衛生管理に伴う作業環境測定 |
| 3 ビル管理に伴う水質検査・空気環境測定 | 7 トータルサニテーション管理 |
| 4 水道法第20条に基づく水質検査 | 8 委託試験・研究・開発 |

